

GO! 剛! ニュース23号は
県道東郷停車場線の
活性化です。



東郷停車場線の活性化を!

東郷駅宗像大社口は自由通路の改修と駅前広場の整備、旧三号線に接続する東郷駅前線が完成し、世界遺産の玄関口にふさわしい外観となりました。世界遺産登録の影響で平成29年度の駅乗降者数は1日260人程増加していますが、駅前通りである東郷停車場線にその恩恵は感じられず、シャッターの閉まった店舗もあります。

東郷駅周辺は中心商業地として日常に必要な生活サービス機能を集積する地域と位置づけられています。ハード面の整備は進んでいますが、ソフト面に関しては活性化のための補助メニューは準備されているものの、具体的な取組は行われていません。世界遺産登録はビジネスチャンスでもあり、この機運を活用した取り組みが期待されます。

駅周辺の若手経営者達によって音楽を活用したイベントが企画されています。「街角をジャズであふれさせることで、地域の活性化とにぎわいづくり、音楽を活用した魅力づくりにつなげたい」という趣旨、「地域が一体化して新しい風を呼ぶ起爆剤にしたい」という想いで活動されています。このような声が自発的に民間から上がることが転換点となり、補助メニューを活用してイベントを成功させ、音楽のあふれるまち宗像のさらなる展開や経済効果につながればと思います。

東郷駅の世界遺産を彷彿させるイメージをつなげて、東郷停車場線の街並みと道路の整備を行い、歩いてみたいと思わせる仕掛けが必要ですが、地元住民の合意形成や、県事業として実現するためには費用対効果などの課題もあります。今後の民間活力が課題解決の原動力となり、民間が主導し、行政が支援する理想形が実現すれば、と考えています。



県道東郷停車場線とは、JR東郷東口交差点（レガネット東郷前）から東郷駅へのなだらかな坂道です。今後、東郷駅前線が平井10号線、宗像福岡線とつながることで活性化の期待が膨らみます。

オーガニックとGAP認証をブランディングに活かし オリンピックレガシーに

2015年に国連においてSDGs(持続可能な開発目標)が採決され、グローバル社会の新ルールとして「持続可能性」がキーワードとなりました。東京オリンピックでもこの視点は重要視され、提供される食材はGAP認証が条件、オーガニックは推奨されています。

事前合宿においても持続可能性のあるオーガニックやGAP食材の活用が相手国の満足度をたかめる手段として注目を集めており、50年前のオリンピックでカラーテレビや新幹線が普及したように、2020年に向けて農業をめぐる状況がグローバルに変化する可能性があります。

第5回宗像国際環境100人会議では「持続可能な社会に向けて、今が時代の転換点であり、新たな文明社会を目指し、大きく考え方を転換することが必要」という議論がありました。現状のではオーガニックは消費者の理解が無いと販売価格も供給量も上がらない、GAP認証は手間と費用をかけて取得しても販売価格に反映しない、が課題です。しかし、この価格が高いか安いかにいう基準が持続可能な地球環境のために良いか悪いかとい

う基準に変わる兆しがあります。

宗像には古来、自然への感謝と畏怖、自然と共に生きる感覚がありました。また、出光佐三翁は「黄金の奴隷となるなかれ」という言葉を残しています。この宗像にある価値観を活かして持続可能性を具体的な形にしたGAP認証やオーガニックを推進することは、時代のパラダイムシフトをすすめる力になると感じています。



GAP認証とは農産物の安全保障で「よい農業の方法(Good Agricultural Practice)」、基準に従って農薬使用や水の質、農作業など様々な項目を適正に実施しているか評価する制度です。農作物の安全性や信頼を高める効果がありますが、現状では基準が多項目におよび労力と費用がかかる割に販売価格に反映していないことが課題です。

ご意見、ご感想などメッセージ頂ければ励みになります！



日々の活動はfacebookにて
fb.me/goyo4da



吉田ごうのホームページ
non3.jp/yoshidago



一般質問の会議映像は
宗像市役所HPにて



宗像市議会議員 吉田ごう

昭和48年 3月、宗像市田熊生まれ
東郷小学校～中央中学校卒業
平成3年 宗像高校卒業
平成8年 福岡大学経済学部卒業
平成8年 株式会社トランスオービット(旅行業)
入社、平成24年6月退社
平成24年 10月、宗像市議に初当選
平成28年 宗像市議に再選を果たす
現在 宗像市久原に在住
総務常任委員会 委員長
議会運営委員会 副委員長
自民党宗像市支部 青年局長
東郷地区青少年指導員会長

吉田ごう 議員活動ダイジェスト

- 7月 東郷小学校の山笠教室でゲストティーチャーをやるのは7年目。毎年パリエーションやもちネタ増やしてのぞんです。追い山当日の小学校では山笠役員の息子達が立派に祝いでたと手一本をいれて地域に根付いていることを実感しました。
- 8月 夏祭りや合宿など恒例行事が続きます。第五回世界環境100人会議では「環境政策を契機にイノベーションを創出し、企業にとってはビジネスチャンス、自治体にとっては地域経済を生み出し地方創生となる」という環境と経済の融合の話が印象的でした。
- 9月 定例会では決算認定を行いました。世界遺産登録という目的に向けて全市一丸となって取り組んだ前谷井市政の総決算であったと感じました。